

International Furniture Fair Singapore

シンガポール国際家具見本市

www.iffs.com.sg

Place: Singapore EXPO, Singapore
Date: 8 to 11, March 2018
Exhibitors: 374 (Company)
Visitors: 19,196



技術と協力でアジアの共同成長を目指すシンガポール

The International Furniture Fair Singapore 2018 / 第35回シンガポール国際家具見本市 2018。アセアン諸国のデザイン&インテリア関係の展示会の中で最先端を走り続けている。シンガポールライフスタイルのドラスティックな変化と共に、アセアン諸国と欧米諸国の中継地点としての新たな立ち位置を築き上げようとしている。同時開催で複数の展示会を違った切り口から提案するのも、多様性のある国家とそれを支える市場流通性によるものだ。インテリアデコレーションやホームファーニッシングメーカー、若手デザイナーのイベントも組織する NOOK Asia / ヌーク・アジア、良質で自然素材を意識した家具やファーニッシングを展開する ASEAN Furniture Show / アセアン・ファニチャーショウも同会場で開催している。バイヤーも世界 92 개국から来場し、多方向へ向けた来場者に満足してもらう為、幅広い価格帯の商品と高品質でデザイン性の高い商材が多く見れる。包括的なインテリアデザイン商材を広く提供することで、家具、装飾材、ホームファッション、建材や最新テクノロジーのサービスや、機械メーカーなども出展するようになった。ダイバーシティーな市場への変化を的確に捉え、変化に沿った最適なメーカーを取り込んでさらに活性化して来ている。

シンガポールの貿易産業大臣の Mr S. Iswaran 曰く「IFFS はアジアのプレミアムデザインのライフスタイルを供給することが可能な貴重なプラットフォームになっている」そして「国としてもイノベーションエコシ

テムを活用した成長を獲得してゆきたい」と語っている。展示会組織の IFFS Pte Ltd と SFIC の代表である Mr Ernie Koh は「トレードショーにしても、その展示社にしても、お互いに進化し続けることが必要になってきている」と話す。「我々の挑戦は、このお互いの関係を成長の中でいかに均衡を保ち、前進できるかと言う事が重要で、再構築を重ねながら最適な方法でニーズを纏め上げてゆく事に他ならない」成長が飽和に侵されない為に進化の道を選択している構えのようだ。

シンガポールの市街イベント Singaplural 2018

市街では積極的なデザイン関係のイベントが開催されている。若年層の人口は減少傾向にあるが、そんな逆境を逆手に取り、シンガポールでは若手のクリエイティブエコノミーの可能性を模索してもらおうと、頻りにイベントが開催されている。IFFS の展示会場で開催される Designer Showcase、ナショナルデザインセンターを拠点に展開する Singaplural、市街全体で開催される Singapore Design Week は、IFFS と同時期に開催。2018 年の SDW では、30 万人のトラフィックに 115 イベントと堅調だ。特に市街のエリアごとに盛り上がるデザインディストリクトや、ギャラリー、ミュージアム、ポップアップも増え、一般的な人々を大きく巻き込んで、クリエイティブエコノミーの可能性を拡大している。



CARTE

www.carthe.design www.tanke.london/blog

会場での特別イベントとして開催された CARTE。IFFS Singapore と TANKE.LONDON のプロモートによるデザインイベント。TANKE.LONDON は、ロンドン、パリ、シンガポールに拠点をもちデザインプロモーター。ゲストキュレーターにフランスのデザイン雑誌 INTRAMUROS / アントラミュロスの創設者 Chantal Hamaide を迎え、時代の変革を捉えた展示「New traditions」を開催。展示環境とアートディレクションにはパリのインテリアアーキテクトの ARRO Studio を起用。エレクトリックでアンサンブルスタイルの展示環境は、会場内ではひときわ輝く話題のイベントになっていた。セレクトされた環境はすべて違ったスタイルながら、共通した「何か」を感じる事が出来る仕上がりになっている。トレンドを超えた何かを模索し、欧州とアジアパシフィック地区の互換性を窺わせるニュアンスを伝えている。多様性の世界での新たなスタイルはこうした交流 / ダイアログから始まるに違いない。

EVENT

P.O.P.U.P by Nathan Young Design

www.nathanyongdesign.com

シンガポールのリーディングデザイナー Nathan Young による新作

SUPERSTRUCTURE というデジタルファブリケーションラボとのコラボレーションだ。CNC ですべて製作されている。シームレスなデザイン&製作プロセスを構築するための新たな試みでもある。フラットパッキングによる簡単な組み立て式家具キット。色彩はオーガニック染が施されている。コスト高で資源が乏しいシンガポールでの家具生産の道を模索していた。



Wallpaper Handmade / Retreat

www.wallpaper.com

UK のライフスタイル雑誌 Wallpaper* と Design Singapore Council の共同企画で開催された「Wallpaper* Handmade Retreat」毎年ミラノで開催されているイベントをシンガポールのデザイナーを中心に再構築した企画だ。静寂、Well-being、マインドフルネスや裸足のラグジュアリースタイルと言った、シンガポールらしいキーワードをデザイナーが再解釈し、上質なデザインプロダクトを展示していた。Designers : Edmund Zhang, Studio Juju, Stole, Theseus Chan, Olivia Lee, Gabriel Tan Studio, WOHAbeing。



District Design Dialogue X Say Hi To

www.sayhito-mag.com www.studio-juju.com
www.dazingfeelsgood.com www.hjhigher.com

Holland Village は古いシンガポールの住宅が残る歴史ある街並み。そんなノスタルジックな地区で開催されたのが District Design Dialogue。週末開催と言うこともあり、家族連れやフラット立ち寄り人々で賑わっていた。クリエイティブエージェンシーの Say Hi To と HJhigher がプロデュースを手掛けた。デザインプロダクトからレモネードやサンドウィッチのスタンド、近隣住人のガーゼセルまで色々。写真は Say Hi To House で展示していた作品。DAZINGFEELSGOOD の System テーブル、HJhigher のアクリルチェア Rye、Studio Juju の非従来型椅子シリーズ The Unfamiliar など。



Sullivan+Strumpf

www.sullivanstrumpf.com

デザインアートギャラリーの Sullivan+Strumpf で開催された Faisal Habibi(1984 生) の個展「fillet」インドネシアの Bandung 出身。インドネシア国内のバンドゥン、ジャカルタ、ジョグジャカルタやベルリン、シンガポールやオーストラリアで活動。今回の「fillet」では、形式主義的アプローチによるもので、日常にある素材 / プールサイドの手すりや階段、とその機能に注目し、用途とは別の機能を強制的かつ穏やかに融合することによって再構築したオブジェを制作している。

EVENT

Singapore Design Week 2018

www.designsingapore.org/sdw www.singaplural.com

5 回目を迎えた Singapore Design Week.

3月5日から18日の開催。約20万人が訪れ市街の各所で115イベントを開催している。国内外からの出展者、来場者はこの14日間を通して、クリエイティブハブとしてのシンガポールを満喫できる。2019年は3月4日から17日を予定している。運営は Design Singapore Council が担当し、デザインコミュニティ、ビジネス、デザイン学生や学校そしてパブリックに向けてのデザインの普及を目的として開催されている。アセアンにおいて最大規模のデザインウィークになっており、今後もこの動きは拡大するに違いない。イノベーションとソリューション、そして新たなビジネス創生に繋がるクリエイティブエコノミーの活性化を促している。